

平成23年度 第6回

公益社団法人 地盤工学会
出版企画委員会
議事録

日時：平成24年2月3日（金）14：00～17：00			会場：地盤工学会3階中会議室		
委員長 荒瀬 義則	○	幹事長 楡井 一昭	○	幹事 橋 伸也	○
幹事 仲山 貴司	○	委員 土屋 光弘	○	委員 細野 康代	○
委員 山木 正彦	○	委員 深田 久	○	委員 福村 一成	×
委員 小川 鉄平	○	委員 和田 健一	○	委員 森口 周二	×
委員 杉本 映湖	×	委員 中井 宏	×	ワザハバー 李 圭太	×
ワザハバー 清木 隆文	○	ワザハバー 川井 康右	×	ワザハバー 高橋 直樹	×
ワザハバー 岩波 基	×	事務局 永田 満枝	○		

《報告・確認事項》

1. 議事録担当者……(別紙-1)
 - ・深田が指名された。
2. 前回議事録(12/9)の確認……(別紙-2)
 - ・承認された。
3. 前回事業部会(12/20)報告……(別紙-3)
 - ・楡井幹事長より報告があった。
 - ・「ショッピングカートの改修」については、ショッピングカート利用者の情報を分析できるようにソフトの修正を進めて頂いているとの報告があった。
 - ・「山留めの創意工夫となるほど納得 Q&A」の販売促進に関して、学会誌へのチラシの差込を積極的に行っていくべきだとの意見が出された。
4. 理事会(12/22・1/27)報告……(別紙-4)
 - ・荒瀬委員長より報告があった。調査・研究部の新設委員会の設置について説明があった。
5. 事業部関係収支報告……(別紙-5)(添付資料-1)
 - ・永田事務局より平成23年12月末までの出版事業の実績と在庫数の状況等について説明があった。
 - ・基準部関係の書籍や提言については売れているが、事業部関係の書籍の売れ行きは厳しい状況にある。
 - ・販売促進として「セット de お得」等のチラシを本部や支部の講習会でも配布することになった。
 - ・地震関係の書籍を一つのテーマとして企画したら良いのではないかとの意見が出された。セット de お得は発行後3年以上の書籍なので、それに限らずに選択し、震災関連の書籍としてチラシを作る方向となった。
6. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……(添付資料-2)
 - ・実務シリーズ「土の締固め」は原稿が完成し、印刷所を検討中。
 - ・実務シリーズ「シールド工法」は印刷中である。
 - ・実務シリーズ「河川構造物の調査設計施工まで」において、震災の知見を書籍に反映したらどうだろうか、との意見があった。震災の知見も考慮されて進めて行かれるものと思う、との報告があった。
 - ・実務シリーズ「地盤改良の調査設計から施工まで」は、現在執筆作業中である。
 - ・ジオテクノート16「現場における地盤調査法の基本～ジオエンジニア養成塾」も内容と担当者の調整を鋭意進めている。
 - ・新企画「新指針に対応した～土と基礎の設計計算演習」は作業の調整中である。来年度の出版は困難と考えている。
 - ・新企画「地盤のはなし」については今後の予定を検討中である。
 - ・新企画「子供向けの本」は広報委員会とも連携して進めている。
7. その他
 - ・アカデミックロードマップと発展史・人物史準備委員会……(別紙-6)
荒瀬委員長より報告があった。構成は8章で各章5項目の提案ということで、各章担当の委員長候補者に依頼をしている状況である。この準備委員会はH23年度までは事業部の予算であるが、来年度からは総務部の

予算になるとのことである。準備委員会メンバーは来年度も委員として継続する。

・セット de お得の実施について……(別紙-7)

永田事務局より実績の報告があった。学会のホームページの文言を「お得なキャンペーン！ここをクリック」から「大好評！セット de お得」に変更することになった。

・シールド工法編集委員会委員追加について……(別紙-8)

編集作業にかなり携わって頂いたということで、3名の委員を追加する旨の報告があった。

・平成24年度予算について……(別紙-9) (添付資料-3)

永田事務局より実績の報告があった。平成24年度の予算の説明があった。既刊本の増刷の予算を200万円削減する方向とした。また、都市の地盤と災害の印刷見積が示された。

《審議事項》

1. 編集委員会委員について……(別紙-10)

- ・「地盤改良の調査設計から施工まで」の編集委員について審議了承された。計画書の理事会への報告の有無について確認してほしいとの依頼があった。
- ・ジオテクノート「現場における地盤調査法の基本」の編集委員について審議了承された。

2. 既刊本増刷について……(別紙-11)

- ・入門シリーズ「地下水を知る」の増刷について審議され、印刷費用を回収できる部数として300部増刷することになった。

3. 新刊本（シールド工法・土の締固め）の初版印刷部数について……(別紙-12)

- ・「シールド工法」の初版部数と価格については、予測式では1,000部で価格3,800円程度となるが、編集委員会からは5,000円程度の価値のある書籍なのであまり安価とするのはどうか、との意見も出ている。審議の結果、現状の書籍の販売実績を考慮し、800部で価格4,500円に設定することになった。
- ・「土の締固め」については、900部で価格3,500円に設定した。⇒後日、結果を土の締固め編集委員会へ報告したところ、実務者に買いやすいように価格を出版企画委員会で設定した金額より安価にしてほしいと連絡が入ったため、再度メール審議を行い、部数は変更せずに一般価格を3,150円（本体3,000円）、会員価格を2,205円（本体2,100円）にすることにした。

4. 新刊本企画について……(別紙-13)

- ・「地盤に関する解析技術（個別要素法）講習会」のテキストを書籍として出版する案が示された。いい企画と考えられるので、趣意書を出して頂いて進めることになった。担当は森口先生にお願いすることになった。
- ・「落石対策工の設計・施工」に関する講習会を開催する予定もあるので、この機会に学会の書籍を作成する案が示された。この件についても進めることになった。小川委員が担当することになった。
- ・「杭基礎のトラブルとその対策」の改訂について、関東支部の小椋副支部長から対応したいとの申し入れがあった。これより、小椋氏に出版を進めて頂くようお願いすることになった。
- ・関東支部の「地盤工学におけるリスクマネジメントに関する事例研究委員会」が終了したが、成果を書籍として出版したらどうかという意見が出ている。支部委員会の成果を書籍とした事例もあるので、この件も進めて頂くことになった。担当は和田委員になった。
- ・以上の4テーマについて事業部の部会に提出することになった。

5. 「根切り工事と地下水」の見直し評価について……(追加資料)

- ・根切り工事の関連書籍との対比も行って検討したところ、現行書籍のように地下水の調査解析から施工事例までが記載されている図書は希少であるので、改訂し出版を継続することになった。

6. 次年度委員について……(別紙-14)

- ・次年度の委員構成について審議された。深田委員は「地盤改良の調査設計から施工まで」の編集幹事であり、土屋委員不在時の代理でもあったので、今年度で退任することになった（後任を検討する）。
- ・今後検討する仲山幹事、細野委員以外の委員については次年度も継続されることになった。

7. その他

特になし